

つながりだより Vol:29



9月26日 市民会館跡地の暫定広場で行われた「芝生 de 手づくりマルシェ」

よねかわ しょうり 米川 勝利 プロフィール

- ◇ 1986年、茨木生まれ茨木育ち
めぐみ幼稚園、大池小学校、
東中学校、茨木高校出身
同志社大学政策学部卒業
- ◇ 同志社大学大学院
総合政策科学研究科
博士前期課程修了
- ◇ 2013年1月
茨木市議会議員選挙 初当選
- ◇ 2014年9月
同大学院博士後期課程退学
- ◇ 2017年1月、2期目当選
- ◇ 所属(2020年2月～)
総務常任委員会
監査委員
茨木BBS会顧問

詳しいプロフィールや福井新聞のインタビュー記事はホームページへ
<http://s-yonekawa.net/>

@yonekawashori



9月議会報告

9月議会は9月3日に開会し、25日に閉会しました。今回も6月議会同様に、コロナ対策関連の補正予算を先に審議し、3日に賛成多数で可決されました(米川も賛成)。また、通常の補正予算は25日に賛成多数で可決されました(米川も賛成)。以下、補正予算の内容と米川の質問の概要をご報告します。

今回の補正予算 6号 (コロナ対策関連) の主な内容

※約 11 億 4300 万円 (主な財源：新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金)

高齢者・障がい者等支援

- ・コミュニティデイハウスにおける要支援者等へのICT活用支援
- ・バリアフリーマップの作成

相談体制の充実

- ・オンラインによる妊産婦・子育て相談の実施

事業者支援

- ・飲食店や小売店頭の中小事業者支援のため、キャッシュレス決済を活用し、ポイント還元事業の実施
- ・公共交通(路線バス、タクシー)の運営の維持や感染予防対策を支援

インフルエンザ予防

- ・乳幼児・小中学生のインフルエンザワクチン予防接種費用の2000円助成(期間：10月1日～12月末日)
- ※65歳以上の方については大阪府が無償実施(期間：10月1日～12月末)



公園の安全確保

公園、児童遊園の遊具の修繕



・コロナ禍において利用が増加傾向となっている公園・児童遊園の安全確保のために、老朽化した遊具等の修繕対応に係る経費を増額。

6月議会まで
質問・要望!

教育環境整備

- ・小中学校への空調設備に設置に向けた計画策定
- ・GIGA(ギガ)スクール構想実現に向けた児童生徒1人1台タブレットPC端末の整備

感染予防対策

- ・街かどデイハウス、コミュニティデイハウスへの感染対策事業補助金の創設
- ・公立保育所、私立認定こども園等への感染予防用品の購入/購入補助

ICT活用

- ・公共施設の貸室等におけるWi-Fi型スマートロックのモデル導入

国が進める構想ですが、子どもたちの教育環境が大きく変わる政策であるため、6月議会に続き、今回も本会議で質問しました。

※質問から明らかになったこと

- ・来年の4月から小中学校に約24000台配備
- ・端末はWindowsのデタッチャブル(着脱式) → タブレットにもノートパソコンにもあるようなイメージ
- ・リース契約
- ・端末に係る費用総額5年で約19億9千万円(国の補助範囲内)
- ・ただし、国はリース期限後の財源(補助)については何も示していないため、リースを更新し1人1台端末継続するには、今後の財源確保策の検討が必要
- ・学校での端末の活用法、持ち帰りの可否等については今年度中に検討、決定

総務常任委員会での質問

米川の質問

1

行政手続のデジタル化（オンライン化）推進を！ （※パソコン、スマホで手続き可能に）

大阪市では2025年までに法的にオンライン化が不可能なものを除いて、1500の行政手続きをすべてオンライン化するという計画を立てている。他市でもそのような動きがあり、本市においても一部ホームページやアプリで手続きができるものがあるが、今後の方向性をどのように考えているか。

答弁：政策企画課長

これまでICTビジョンに基づいて、可能なものから順次進めてきたが、今回のコロナ禍においてwithコロナ、afterコロナの社会を見据えた対応が加速化していることを踏まえると、**早期に全庁的に取り組みが必要だ**と考えている。

米川の要望

来庁者の三密回避だけでなく、身体上や仕事の理由等で市役所にはなかなか行けない市民のためにも早急にオンライン化を要望。また、窓口対応について、実際に市民と会って初めて気づくこともあると思う。**オンライン化で業務効率化できた分、より一層、役所における対面での窓口対応で市民に寄り添ってほしい。**

米川の質問

2

今後の社会情勢を見据えた職員採用を！（採用数の抑制を）

職員数の推移と採用人数を決める基準は？

	正規	非正規
2018年度	1915	804
2019年度	1941	839
今年度	1945	859

※参考 直近3年の市職員数

答弁：人事課長

採用人数は、職員の退職補充を中心として、再任用の状況や各職場の業務量、新規拡充事業、また縮小・廃止事業などを加味したうえで決定。

正規職員数については、長らく縮減に努めていたが、2014年度以降は緩やかに増加に転じている。非正規職員数は2017年度以降、増加傾向にある。

米川の質問

3

退職補充を中心としているとのことだが、**退職者数の補充よりも、可能な限りこれからの技術の進歩や人口減少といった社会の変化に重点を置くべきではないか。**長期的な視点で採用を進めてほしいと考えるが、見解は？

答弁：人事課長

将来における適正な職員数については、現時点で予測することは困難だが、今後とも業務の効率化を図りながら、市民サービス向上のための組織のあり方等を常に念頭に置いて、人件費の適正化に努めていく。

補正予算第7号の主な内容

※約11億8400万円（主な財源：国庫支出金、繰越金、市債）

市民会館跡地エリア

- ・新施設整備に向けた用地取得
- ・中央北グラウンドの改良工事
- ・**市役所前線（市役所正面玄関前の道路）等における交通環境の検討**

中心市街地

- ・**中心市街地等における景観形成の推進**

交通

- ・山間部における移動支援の検討
- ・**景観や環境に配慮した市役所前のバス停の設置**

公園再整備事業

- ・4公園の長寿命化対策

公立幼稚園のあり方検討

- ・審議会の設置

米川も以前に質問または要望

トピック

阪急茨木市駅西口再整備について



9月に地元説明会が行われました。資料は市ホームページに掲載されています。今後の主なスケジュールは以下の通りです（現時点の想定）。



茨木市が医師会等の協力でPCR検査センターを開設

・期間：2020年10月21日～2021年3月29日

市内のかかりつけ医の判断
（軽症患者のみ）

ドライブスルー方式
（完全予約制）